

令和3年7月7日(水)

令和3年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

- 1 日 時 令和3年6月9日(水) 15:00～16:00
- 2 場 所 本校視聴覚室
- 3 出席者 学校関係者評価委員6名(1名欠席), 本校職員19名

4 内容

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ
- (3) 委員紹介
- (4) 本年度学校経営方針

本校の使命

多様な生徒を受け入れ、自尊感情(自己肯定感や自己効力感, 自己有用感)を育み、社会人として自立できるよう支援する学校

方策

- 1 きめ細やかな教科指導を通して、基礎学力の定着と向上を図る。
 - 2 丁寧で根気強い生活指導等を通して、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、規範意識をもたせる。
 - 3 学校生活全体を通して、自己の在り方や生き方を考えさせるとともに、将来の目標をもたせ、その実現を図らせる。
- (5) 学校概況説明と本年度の目標(各課程10分ずつ)
 - (6) 学校評価アンケート結果報告(通信制 昨年度の生徒分)
 - (7) 質疑・意見交換

ア 関山徹 委員

- ・ 開陽高校の進路指導部, 生徒指導部の指導に厚みを感じる。特に通信制の進路指導における卒業生の増加は、生徒に寄り添った丁寧な対応がなされているのではないかと。
- ・ 今後ZoomやGoogle Meetなどによる説明会などを行えば、案外参加者が増えるのではないかと。補完的なものが功を奏するのではないかと。

イ 堀切園政嘉 委員

- ・ これまでどおり、生徒さんに寄り添った指導を続けてほしい。
- ・ 5月末現在南署管内での事件等件数について
刑法犯11人(R2 12人), 触法犯8人増, 声かけ事案10件

補導42人（R2 133人・91人減）、公然わいせつ27件（2人検挙）、
声かけ8件、つきまとい5件、盗撮5件、不良行為42件（91件減）

- ・ 大麻取締法違反の14～19歳の件数激増 2020年 887件（2016年の216件から4.2倍に）。全国でも鹿児島県でも広まっている。

ウ 草野芳人 委員

- ・ 不登校生徒等に対する中学校の先生方の意識が変わらない。通信制の「聞き合う会」を参考にさせてほしいと思っている。
- ・ 情報モラルに関しては、中学校でも指導や対応に苦慮している。

エ 福德剛 委員

- ・ 私は学校の近くに住んでいる。開陽高校の移転に際して、いろいろな意見があった（当時は谷山中が元に戻りつつあった時だったので）。今日初めて校内に入って、職員が学校のために頑張っているように感じ、学校の良さを知った。地域に開陽の良さを伝えていきたい。

オ 溝口明生 委員

- ・ コロナ感染症はまだ治まっていないが、緊急事態宣言解除後、ワクチン接種が行き渡って感染が沈静化してきたら、できるところからでいいので学校行事を開催してほしい。
- ・ Zoomの活用について、TV会議の実施や、今後就職試験のZoomによる面接の訓練もしておいたほうがよいのではないか。
- ・ SNSの危険性の指導をお願いしたい。

カ 福永政治 委員

- ・ 心に気になることを抱える子どもに関わっている。
- ・ 通信制の在籍者の6割が若い年齢であることを見ると、若い子どもたちが変わってきていると感じる。
- ・ 保護者会等で本人、家庭、社会の話を話題にすることは大変いいことだと思う。R2年度の卒業生が増加しているのもその効果ではないか。
- ・ 子どもたちの、次の「居場所」となる場所を提供していただければと思う。若い、新しい世代のニーズを探りながら、自分も手伝っていかれたらと思っている。

(8) 閉会の言葉